

■目次

■令和3年第1回定例会【3月】

予算特別委員会2～3

当初予算4～5

提出議案・補正予算・陳情6～7

■令和3年第1回臨時会【2月】… 8

■一般質問 9～18

■議会トピックス

議会改革特別委員会だより19

■議会だよりギャラリー 20

しほぎ

下郷町 議会だより

令和3年5月

第 **95** 号

春の非常招集

令和3年4月18日 5:30から春の非常招集訓練が行われました。消防団だけではなく、地域を守る婦人消防隊も放水訓練を行いました。(塩生地区)



計 算 特 別 委 員 会

委員会を設置し、委員長に湯田健二議員、副委員長に行い、町政全般の予算に対し、多くの質疑がありました。

国民健康保険特別会計

問

県支出金が減額されているが要因は何か。保険者数は何名か。

答

医療費支出金の補填となるが、支出金が減っていることが要因である。
令和2年4月1日現在、857世帯1355名になる。

後期高齢者医療特別会計

答

加入者は何名か。また負担が1割から2割になるのはいつからか。

問

加入者は4月1日現在、1427名。
負担の増は令和4年10月ごろになる。高所得者で2割負担になるのは、200名ほどいる。

介護保険特別会計

問

2000年から開始されたが、滞納者は何名か。また、いつ頃から増えているのか。

答

滞納者は250名である。また、2001年から徐々に増えている。

一般会計予算

◎子供の学力向上施策

問

「英文化体験事業」は、学力向上事業として、非常に効果的である。コロナ禍を理由にすることなく、長い目で学力向上のために大事にしてほしい事業である。しかし、次年度の予算が半分に削られた。どうしてか。

答

次年度、学習指導要領の改訂により、授業編成の大幅変更を余儀なくされ、全学年が1日だけの日帰り学習に変更せざるを得なくなった。また、英語検定試験の委託料を役務費項目に移したため、英文化体験事業費は減額の予算となった。

◎地域おこし協力隊

問

地域おこし協力隊の任期が残り1年。ぜひこれから協力隊の力をお借りしたい。今後の募集構想はあるのか。

答

令和4年度募集に向けて内容を検討している。現在は2名の隊員に空き家対策やクラインガルテン事業の推進に関わって頂いているが、今後は町の課題や行政が手を出しにくい分野の事業等「ミッション型の募集内容」を検討している。

問

現在2名の地域おこし協力隊員がいるが、任期はいつまでか。
隊員2名には定住していたきたいと考えるが、支援についての考えはあるのか。

◎介護保険料の改定表

所得段階	第7期 (H30～R2)		第8期 (R3～R5)		増 減	
	月額	年額	月額	年額	月額	年額
5段階 (基準額)	6,200	74,400	5,900	70,800	-300	-3,600

一般会計・特別会

令和3年度一般会計及び特別会計の6会計は、予算特別小椋淑孝議員を選出。3月17日・18日の2日間にわたり審査を

答

1名が令和4年1月末まで、もう1名が3月末までである。

本町に定住し活動していた

だくため、地域おこし協力隊企業支援補助金を新設した。

国の補助金は令和3年度で終了するが、今後も町として支援していく。

◎納税に関して

問

入湯税滞納繰越金が1000円となっているが、昨年までの分はすべて納付されたのか。

入湯税は預り税であることを徹底すべきではないか。

答

滞納はあるが、新型コロナウイルスの影響で収入の見込みが立っていないため、納入に至っていない。預り税であることを引き続

き伝えていく。

◎個別施設計画・

財政シミュレーション

について

問

12月定例会で指定管理料の赤字補填の予算が計上され可決したが、今回一般質問の答弁で報告のあった補填額は約1800万円少なかった。こちらを踏まえて予算の試算方法、財産保守の観点から個別施設計画・予算の財政シミュレーションを立てていると思うが今年度の結果、来年度への課題をお聞きたい。

答

個別施設計画は策定中であり、令和元年度から2か年計画で計画しているがコロナの影響もあり来年度の9月には策定予定。財政シミュレーションは個別施設計画との

擦り合わせを行いながら3年度に策定する。

◎観光誘客促進

事業補助金

問

ウェルカムしもごう観光誘客促進事業補助に3500万円を計上しているが、具体的にどこへの補助で、どのような内容なのか。

答

下郷町観光公社への補助金で考えている。事業内容は、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた宿泊業・お土産店などで地域経済が回るように旅行商品、宿泊、体験、食事などの好みのものを選び、その代金に対して割引するものを考えている。

◎未来創生ふると

まちづくり支援

問

3年間の継続事業と聞いて、持続的・継続的な活動が求められるサポート事業と捉えている。しかし、地区がまとまって地域おこしを企画することは、困難な課題もあるだろう。もう少し具体化したものを示していただきたい。

答

伝統文化の拡充・伝承・復活等により、地域をつなぐ活動の展開を図る行政区に50万円を助成。3年間で全ての行政区に行き渡るようにしたい。なお助成金は単年度とする。具体的な内容として、老人会、育成会単位の事業も考えられる。今後、区長さん方からの声を取り入れていく。

令和3年度予算

一般会計 49.11 億円 を可決

令 和3年度の予算を可決しました。

一般会計の予算額は前年度比2億2600万円増の49億1100万円となり、特別会計の予算総額は前年度比4261万2千円減の19億6932万3千円となりました。

歳入の増額分として、地方交付税や橋梁補修事業に係る道路メンテナンス事業国庫補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等となっております。

歳入の減額分として、町の基幹収入である町税、固定資産税の減額となっております。

歳出の増額分として、ふるさと創生基金積立金や湯野上温泉駅前整備工事、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、感染症対策として実施するウェルカムしもごう観光誘客促進事業補助金等の支援事業により増額となっております。

豊かな心を育む (教育文化) 2億736万円

- ・児童手当
- ・子ども医療無料化事業
- ・結婚新生活支援事業
- ・大内宿保存整備事業 など

賑わいと 産業の創出 (活力創造) 3億4847万円

- ・湯野上温泉駅前整備事業
- ・中山間地域等直接支払事業
- ・新しい農の販路開拓支援事業
- ・住宅取得支援事業 など

健やかな暮らし (健康福祉) 2億2544万円

- ・各種予防接種費用の負担軽減
- ・不妊治療助成金
- ・緊急風しん抗体検査
- ・高齢者タクシー助成 など

令和3年度 重点事業内訳

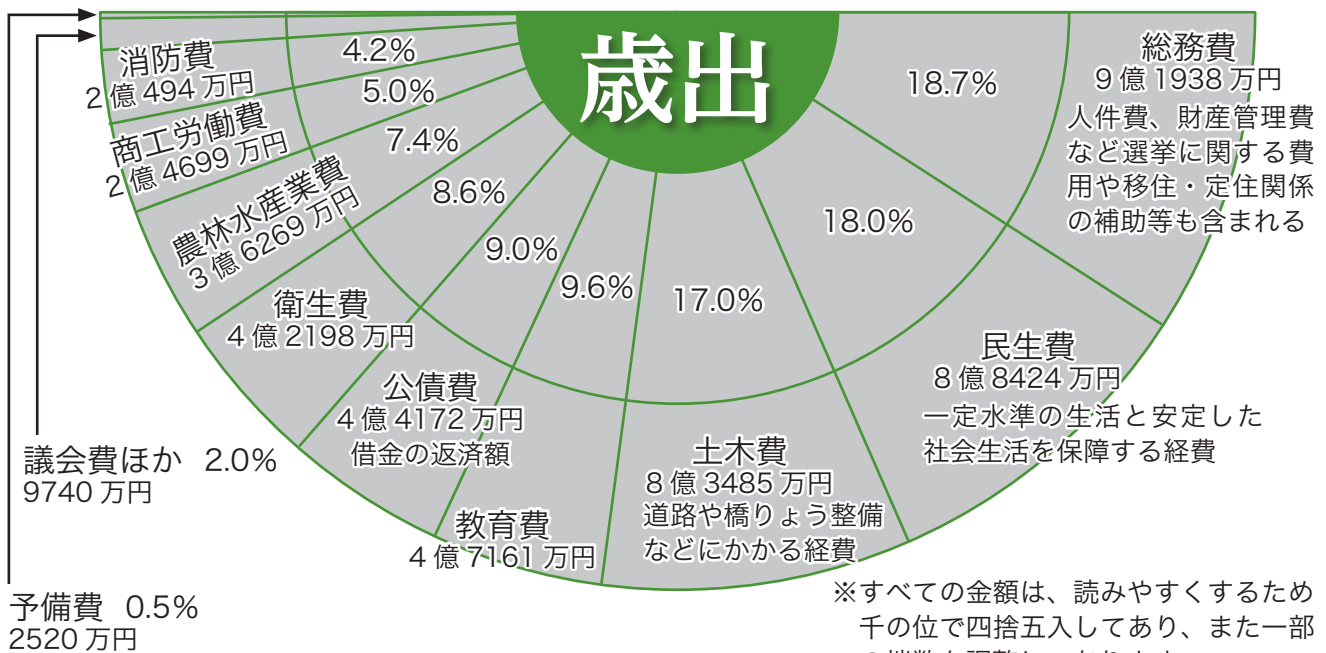
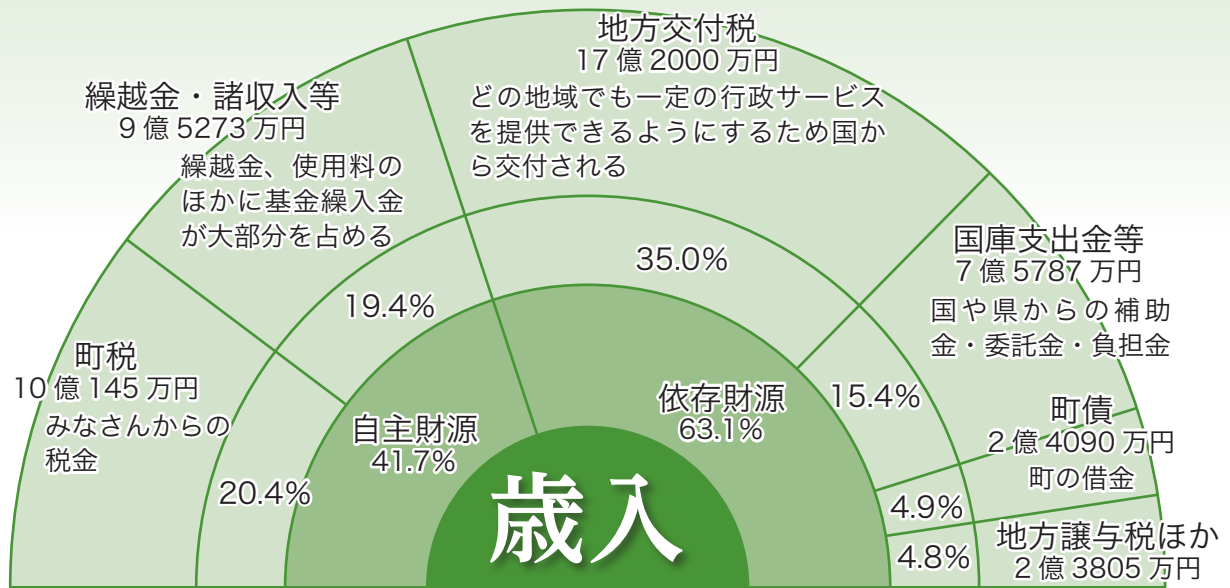
まちづくり 人づくり (協働推進) 1797万円

- ・地域おこし協力隊
- ・未来創生ふるさとまちづくり支援事業 など

住みよいまち (生活環境) 7億4348万円

- ・生活バス路線確保
- ・防災無線個別受信機整備事業
- ・湯野上橋橋梁補修工事 など

令和3年度一般会計内訳



※すべての金額は、読みやすくするため千の位で四捨五入してあり、また一部の端数を調整してあります。

令和3年度特別会計内訳

特 別 会 計	予 算 額	増減額 (対2年度)	増減率
国民健康保険	7億5656万4千円	△3640万円	4.59% ↓
後期高齢者医療	8497万4千円	△160万9千円	1.86% ↓
介護保険	8億9083万3千円	△39万3千円	0.04% ↓
簡易水道事業	2億814万6千円	△189万1千円	0.90% ↓
農業集落排水事業	2880万6千円	△231万9千円	7.45% ↓
合 計	19億6932万3千円	△4261万2千円	2.12% ↓

3月例会

3月10日から19日にかけて3月定例議会が開かれました。教育長の人事や令和3年度予算、条例の一部改正など町提出議案の24件、議員提出議案3件はすべて可決しました。

主な議案審議内容

令和2年度補正予算について

問

歳入で町民税490万が増額補正されている。また、

固定資産税も29万9000円増額となっているが、コロナの影響で減額となる要因は考えられるが増額となった理由は。

答

コロナ対策の給付金や支援金を受ける場合、町税の滞納があると給付の対象にならないことから、増額になったと推測される。

問

町税の未払い者に対して給付金の該当にならない、強制はしないが負担に感じたという方もいたかと思うが、給付金の支払いの際に納税を強制するようなプレッシャーをかけるなどは無かったか。

答

税金については国民の3大義務である納税の義務であることから、給付金など一切別として納税していたかどうか対応している。

【町提出議案】

- ▼専決処分（承認）
 - ・令和2年度下郷町一般会計補正予算
 - ・令和2年度下郷町一般会計補正予算
- ▼教育長の任命
- ▼人権擁護委員候補者の推薦
- ▼下郷町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の設定
- ▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の設定
- ▼下郷町国民健康保険条例の一部を改正する条例の設定
- ▼下郷町介護保険条例の一部を改正する条例の設定
- ▼下郷町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例の設定
- ▼下郷町議会議員及び下郷町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の設定
- ▼下郷町公民館条例の一部を改正する条例の設定
- ▼町道の路線認定
- ▼町道の路線廃止

▼町道の路線変更

- ▼令和2年度下郷町一般会計補正予算
- ▼令和2年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
- ▼令和2年度下郷町簡易水道事業特別会計補正予算
- ▼令和2年度下郷町農業集落排水事業特別会計補正予算
- ▼令和3年度下郷町一般会計予算
- ▼令和3年度下郷町国民健康保険特別会計予算
- ▼令和3年度下郷町後期高齢者医療特別会計予算
- ▼令和3年度下郷町介護保険特別会計予算
- ▼令和3年度下郷町簡易水道事業特別会計予算
- ▼令和3年度下郷町農業集落排水事業特別会計予算

【議員提出議案】

- ▼予算特別委員会の設置に関する決議
- ▼福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出
- ▼下郷町議会会議規則の一部を改正する規則の設定

主な議案審議内容

◎下郷町公民館条例の一部を改正

問 公民館条例の一部改正で、備品を無くすというが、婚礼衣装は譲渡なのか、処分なのか。

答 保存状態がよく、田沼文蔵記念館で展示した経緯がある。そのまま保管することになる。

◎非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 情報公開請求があった件数は何件か。審査会にかけるものはあったのか。

答 平成26年から集計をしている。令和2年までの771件である。審査会で審査の対象になると思われるものは100件弱である。

◎下郷町介護保険条例の一部改正

問 高齢者は増加傾向であるのに介護保険料が減るとはどういった理由か。

答 施設介護職員が少ないため、予定された入所できる人数が減り経費が減少したため介護保険料も減額となった。

◎公職選挙法の一部改正

問 「議員の成り手がないう」という背景もあって、環境の改善（経費の軽減・運動の機会均等・多様な人材確保）が図られた。

①町民に改正の趣旨・内容が分かるように早期に周知して欲しい。

②町長・町議選の場合、概算

◎下郷町議会 会議規則の改正

議会の運営方法を定める、下郷町議会会議規則の改正を行った。改正点は次のとおり。
○育児、介護など議会の欠席事由を明記。
○出産に係る議員の欠席期間を明記。
○請願書・陳情書を議会へ提出する際に押印を必要としていたが、署名又は記名押印とし、押印が必須ではなくなった。

でどの位の予算額になるか。又、国からの補助はあるのか。

答 ①公布されたら、それらの周知等について選挙管理委員会と協議しながら進めていく。

②町長は約63万・議員は約61万円×立候補者数。

国からの財政支援は現段階で通知されていない。そこで、秋の町長選経費として一般会計予算に326万円を計上した。

陳情

◆福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出

▽陳情者

下郷町大字豊成字林中 6090

児山正己氏 他1名

▽審査結果／採択

▽意見書提出の議決

内閣総理大臣などに意見書を提出することを議決した。

人事

◆教育長の選任

湯田嘉朗氏（倉村）の任命に同意。令和6年3月31日までの任期となる。



◆人権擁護委員の選任

佐藤守孝氏（沢入）の推薦に同意した。

◇選挙公営

（候補者の選挙運動費用を町が負担します。）

- ①選挙運動に使用する自動車（拡声器・看板取付は除く）
- ②選挙運動用のビラの作成（75円×1600枚まで）
- ③選挙運動用ポスターの作成（ポスター掲示板の数分）

問責決議から3ヶ月

◎下郷町議会議長が問責決議について言及

令和2年度12月定例会で、星 能哲議員、玉川一郎副町長に問責決議が出され、議会広報と、民間誌にも掲載されました。

町民の皆様には議会に対する不安と疑念を抱かせてしまいました。問責決議には法的拘

◎星 能哲議員 本人が謝罪

問責決議の件で大変ご迷惑をおかけいたしました。町民の皆様、星學町長、行政当局の皆様、小玉議長並びに各議員の皆様に対し衷心より陳謝いたします。

束力はありませんが、星 能

哲議員においては議員個人の判断、副町長は町の責任において対応することとなっております。

町議会議員がこのような事態を招いたことに議会を代表してお詫びを申し上げます。

◎町長が副町長への問責決議について 嚴重注意処分したことを報告

玉川一郎副町長への問責決議が可決されたことは町長として重く真摯に受け止めている。問責の原因となった内容について、本人から2回にわけて事情聴取を行い、2月9日に口頭で嚴重注意を行った。

副町長は町長の補佐役として議会の皆様、町民の皆様に公平で丁寧な説明・対応するべきものであるが、今回ご

今後は、議員一人ひとりが政治倫理をわきまえ、町民の皆様の信託に応えるよう努めてまいりますので、議員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

指摘のような疑いが生じたことは誠に残念。議会の皆様、町民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことは事実であり、改めて副町長に議会を尊重し、町づくりを進めることを確認した。本人も反省しており、議会と一体になり、全国に誇れるまちづくりに精進し町民の皆様の幸せを実現するため取り組む。

令和3年度第1回 (2月) 臨時会

令和3年2月2日に、令和3年第1回臨時会が開かれました。専決処分(補正予算)と補正予算の2件の議案を審議し、すべて可決しました。

主な議案審議内容

◎専決処分(補正予算)の承認

問 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業業務委託料の内容と、保管する冷凍庫の準備は。

答 接種券配布のためシステム改修、接種券出力、接種結果管理といった内容。保管用冷凍庫は1台が国、1台は町で発注している。

問 ワクチン接種の順番や場所は。

答 接種は65歳以上の高齢者からで、高齢者の対象人数は2386名である。各医院での個別接

種、それ以外は集団接種を考えている。

◎令和2度補正予算を議決

問 下郷町民定額給付金事業(町民一人5000円)は対策本部会議で決めたのか。会議は何回行われたか。

答 対策本部で決まった。対策本部会議は19回開いた。

問 町民一律の給付もいいが、宿泊施設やお土産品店等の困窮者に給付ということは検討されたのか。

答 執行される予算の中で有効的な予算を組んだ。

一般質問

9議員が町政を問う

3月定例会では、9人の議員が23件の一般質問を3月15、16日にかけて行い、活発な議論を展開しました。10ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。(掲載は1人3問としており●印の質疑応答のみとなります)

星 輝夫 (10 ページ)

- 災害時の緊急受け入れについて ●下郷町工事発注の件について
- 下郷町社会福祉協議会への支援について

小椋 淑孝 (11 ページ)

- 町執行の入札率について ●補正予算の対応について ●子育て支援について
- 収納対策について

星 昌彦 (12 ページ)

- 災害用備蓄品避難所体制及び職員ボランティアについて ●新型コロナウイルスワクチン接種について

玉川 邦夫 (13 ページ)

- 男女共同参画推進のまちづくり ●町長の8年間のまちづくり構想

星 和志 (14 ページ)

- 指定管理者に対する責任と町民への意見聴取について ●今後の教育構想とは

湯田 健二 (15 ページ)

- 新型コロナウイルス対策について ●水田農業対策について ●町長の任期について

佐藤 盛雄 (16 ページ)

- 農業振興について ●地域振興策について

湯田 純朗 (17 ページ)

- 湯野上地域整備基本計画について ●しもごう保育所及び調理担当職員の勤務体系について ●下郷町観光循環バスについて

山名田久美子 (18 ページ)

- 栗林遺跡について ●新型コロナウイルスに関して



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることをです。



星 輝夫 議員

teruo hoshi

質問

災害時の緊急受け入れについて

答 弁
検討したい

問

令和2年9月
災害発生時に民宿や旅館やホテル等の施設で検討したいとの答弁をいただいた。

江川地区の住民はどこに避難すればよいのか質問し、4施設が利用可能であるとの答弁があった。

先月には震度6強の地震が発生した。大震災から10年、

答

検討したい。

令和元年秋季の豪雨災害から1年半となる。現町長の任期は9月までであるが、災害時の緊急受け入れについて解決できるのか。

質問

未完了の町道の工事はあったのか

答 弁
出来高を満たせず
完了した工事は無い

問

入札を行い起点から終点まで完了しなかった町道の工事はあったのか。

答

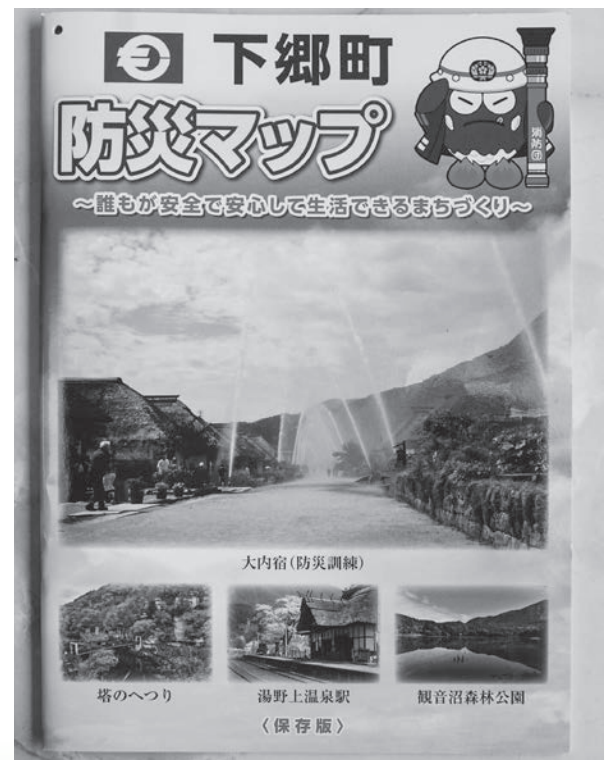
町道で出来高を満たせず完了した工事は無かった。

問

起点から終点まで写真配布になりました。工事起点点約30メートル手前で終了しているのはなぜか。

答

材料費などの高騰でそういうこともある。



質問

下郷町社会福祉協議会への支援について

答 弁

支援策を
考える

問

社会福祉協議会はコロナ禍でも職員の給与を減額してまで運営を継続しています。

町として社会福祉協議会に支援策を考えてはいかがでしょうか。

答

支援策を考える。



小椋 淑孝 議員

hidetaka ogura

質問 補正予算の（指定管理料）対応は

答 弁 随時、説明していく

問 12月定例議会で下郷町地域振興株式会社や観光公社への指定管理委託料は、あくまで予算であり実績、運営上の収支を精査、協議し補正を支給したい。承認していただかないと、交付金を返さなければならなく、その他の事業にも影響があるとして補正予算を承認した。しかし、本定例会での報告や資料の提出はなく、町長提

案理由の説明でもなかったが、どうゆう事なのか尋ねる。

答 2月中旬に収支、支出額が確定したので、再積算した額に基づき協議した。4月から12月の売り上げ減少は、観光公社で約1000万円、各施設の支援額を4分の3とし、各種コロナ給付金を減額し、最終的に

約483万円となる。道の駅もこうで約1114万7千円、支援額を4分の3とし、新型コロナウイルス給付金を減額し、最終的に353万3千円の支援額になる。定例会や臨時会に決算の数字が出てこない場合もあるし、資料、説明不足となったが、随時、指定管理料が絡む場合は説明していく。

質問 子育て支援について

答 弁 近隣市町村の状況を参考に検討する

問 子育て支援不足と思うが。

答 保育所の開所時間を、午前7時からにする。充実を図るため、他の支援策や近隣市町村の状況を参考に検討する。

質問 コンビニ納付等の考えは

答 弁 費用対効果等を考慮し検討する

問 町税や各種料金の収納対策は、どのような考えをもって挑むのか。滞納状況を考えると、収納に関わる職員も大変である。

全国的にコンビニ納付やクレジット納付を取り入れ、増えて

きている。当町の若い世代は町外へ勤務する割合が多く、夜間勤務をしている方も多数おり、金融機関へ行く時間もままならないという声がある。これらの導入について伺う。

答 滞納者には督促状、催促書の発行、夜間徴収及び調査により資力があるかどうか判断し、あると判断した場合には交渉を行い、それでも納付がない場合には差押さえの実施している。コンビニ納付導入については、概算経費としてシステム初期導入費、システム利用料、収納事務手数料で約353万2千円の経費、その後毎年285万円の経費がかかるため、費用対効果等を考慮し検討する。

問 少人数教育では限界があるのでは。

答 教育懇談会開催する。各学校の保護者、約8名、校長先生4名、各地区代表者3名、少人数教育の在り方や課題等を議論していく。



星 昌彦 議員
masahiko hoshi

質問
災害用備蓄品避難所体制
及び職員ボランティアについて

答弁
集落への備品配備を検討する
災害時の状況により職員を派遣する

東日本大震災から10年。下郷町は大きな被害もなく安心していた矢先、2月13日マグニチュード7.3の地震が発生した。そこで、各種対策について、以下の5点を問う。

問 町の防災備蓄品の種類、何人分で何日分の備蓄があるのか。

答 飲料水は、500mlペットボトル9552本、主食白米等で、6100食、100人分、1日3食を考え、2日分を確保している。

問 指定避難所で、感染症対策のソーシャルディスタンス対応を取った場合、必要な備蓄品はどのようなものがあるか。また、大きな災害と感染症が同時に発生した場合、3密を避けるため各集落の避難準備場所に発電機の配置と各世帯に非常持出袋を配布してはどうか。

答 県の補助金を活用し、通常の感染予防品の他に、間仕切りパーテーションや感染対策用品等を購入し、更に避難所での感染対策強化

のため、室内テント18張りを購入した。今後は必要なものを検討し購入と更新をしていく。また、防災会議でどのような備品を各集落にどのような配備するか検討し、早急な対応が必要だと考える。

問 町の指定避難所5か所ふれあいセンター、コミュニティセンター、下郷中学校、しもごう保育所の合計収容人数3380人が、ソーシャルディスタンス対応を取った場合、収容人数は何人になるのか。

答 指定避難所5か所の収容人数が3380人。ご質問の対応を取れば、1人当たりの面積が2倍必要になる。各施設の収容人数は2分の1を考え、1700人を想定している。不足分は、会議室や空教室の活用を考えている。

問 東日本大震災時、ふれあいセンターとコミュニティセンターに避難民を受け入れたと思うが、受け入れ

人数は何人か。

答 ふれあいセンターでは、南相馬市の患者165名とスタッフ16名。コミュニティセンターは、25名。合計206名を受け入れた。

問 先の大震災や新潟・福島豪雨の際の職員ボランティアの人数は何名か。ま

た、再度災害が発生した場合職員を参加させるのか。
答 大震災では、7月に9日間、いわき市に48名、同年7月の新潟・福島豪雨では、被害が甚大な只見町に73名の職員ボランティアを派遣し、被災地の復旧復興を図った。災害があれば状況に応じ、公務派遣したい。

質問
新型コロナウイルスワクチン接種
について

答弁
集団接種の場合は
高齢者等の移動手段を確保する

問 新型コロナウイルスワクチン接種について、個別接種、集団接種でのワクチン接種を想定と思うが、巡回接種は検討されたのか。集団接種の場合、高齢者や体の不自由な方の交通手段の対応は。また接種対象者の人数は何人か。

答 巡回接種については、医師や看護師の確保などにより見送った。町内医

院での個別接種を主とし、個別接種を受けない方や休日接種を受ける方は、集団接種を考えている。高齢者や体の不自由な方は、町の総合検診と同様に、タクシーの借上げで対応したい。3月1日現在で対象となる16歳以上の人数は4905人。65歳以上の高齢者は2391人となっている。



玉川 邦夫 議員
kunio tamakawa

質問 防災会議で本町は女性委員ゼロ

答 弁
女性の防災意識を取り入れた
まちづくりを進める

森喜朗氏の女性を軽視した問題発言は、絶対許されない。そこで、ジェンダーフリーに関わっての町長の考えを問う。

◇ジェンダーフリー

文化的社会的に形成された男女の差異。その固定的な性別にとらわれず男女が平等に自分の能力を活かして行動できること。

問

地方防災会議において、女性委員の比率低調。県内では、本町を含めて、27市町村が女性委員ゼロ。町長はこのデータをどう受け止めているか。

答

女性ならではの視点も重要と考えている。防災会議設置要綱の内容の見直しによって女性登用を図っていく。必要によっては女性を指名していくこともある。

問

男女共同参画事業について、今までの町の総合計画には上がっていない。今回の共同参画事業二次計画策定でどのような見直しをされて来ているのか。

答

28年課題把握のための意識調査。31年、第1回共同参画推進協議会でプラン改定検討。元年、ワークシヨップで課題の洗い出し。2年、3回の共同参画プラン

質問

町政8年間のまちづくりの総括を

答 弁
今後も将来を見据えた
活力ある協働のまちづくりを

問

町長が掲げてきた「豊かな自然」を活かした住みやすいまちづくりについて、リーダーとして、この8年間の町政を総括してほしい。その中でも休耕田を有効活用した農村の再生についての成果と課題はどうか。

答

町の将来・発展を考えた活力あるまちづくり

策定の開催。その間、地域おこし協力隊員や医科大教授の出席を頂いてきた。

問

男女共同参画推進に向けて「地域おこし協力隊」の方々に、リーダー的立場で活躍してもらうことはどうか。また近年、防災対策に男女共同参画の視点を取り入れている。その良い例が女性の目からの「防災ハンドブック」作成。本町でもこうした事業活動をお

答

「地域おこし協力隊」には、地域コミュニティ活性化のために頑張ってもらっている。また、様々な場面での女性の活躍を発信すると共に女性のリーダー育成も今後重要になってくる。さらに、意思決定の場である審議会への女性登用率25%目標など、女性参画の促進を図ることも必要である。

願いたい。



美しい棚田の風景を訪ねる人々は絶えない



星 和志 議員
kazushi hoshi

質問 慢性的赤字の対応策は？

答弁 見直しを図っていく

問 今年度、下郷町地域振興株式会社には指定管理料として当初で1800万円、追加補正で1900万円、

下郷町観光公社には当初で3600万円、700万円が追加補正で予算化され、支出されるものと思われる。赤字補填を行っている側の町はこの現状をどのようにとらえ、どのような指導をし、今後、どのような対応を行っていくのか。町の財産を使用し、そして住民からの血税を多額に投入する以上、必要不可欠と思われるが、町長の現在、

そして今後の考えは。

答 会社の経営理念を明確にし、経営していくかなければと考える。赤字補填や指定管理料等の支出は少ないほうがいいのはもちろん、またそれは町の財政からの支出額となるので多くの町民からのご意見やご希望、運営に関わる改善点等を賜り、次世代に向けた前向きな意見や企画をご提案い頂きたい。

問

町長が言う雇用促進を目的とするならば、M&A（事業売却）・経営者の公

質問 下郷町独自の教育構想は

答弁 公的な支援の基に構想する

問 子育て世代に喜ばれる下郷町独自の教育体制を取れば、若い世代の移住にも繋がってくると思うが、今後の教育構想について伺う。

答 町単独で数学の教員を配置し、中学3年生の習熟度別に授業を行い、受験対策の強化を計っている。教員同士の研究の場として四つ葉のクローバープラン推進

募・コンサルタント等を活用し、経営の専門を育成等して運営できれば税収増や観光者増にも繋がると思われる。また、取締役を増やしても経営の専門がいなければ判断・管理もできないと思われるがどうか。

答 町長、代表者としての責任があり、雇用促進・地域の農産物の販売について協力頂き税収が伸びる

会議による小中連携の取り組みを継続していく。すべての教科に共通する読解力の向上の為に図書館の運用面での充実を計っている。タブレット端末の導入にあたり様々な先進事例を取り入れ活用方法を検討する。

問

他の地域と差がない教育では「下郷町で学び、住みたい」に繋がらず、利便

ような方法で行いたい。取締役増員で赤字補填の解消はならないと思うが、タスクフォースでこれから検討していく。

問

毎年2000万弱の指定管理料がかかるとなると、早急に決めなければ財政がひっ迫するため、スピード感を持って対応していただきたい。お金を配るだけではなく回

性が高く、塾も多いなど教育水準が高い他の町で育てたいと、教育熱心な方々は離れていく事が十分に考えられる。都市部と同じような教育だけでなく、都市部では不可能な特化した教育構想をもつことが大切だと考えるがどうか。

答

文部科学省の教育課程に基づいて授業を進めている。公的な支援の基に教育構想を打ち出していく。

答

スピード感を持って対応していく。経営の内容容を変えていかなければならない。町長としては委託できるところは委託したほうがいいと考え、赤字も減少すると思う。見直しをしていきたい。



湯田 健二 議員
kenji yuda

質問 新型コロナウイルス対策について

答弁 様々な対策を行っている

問 主な事業の進捗状況について。

答 28事業で予算現額3億5785万6千円

の事業を実施し、年度内に完了する見込みとなっている。経済対策事業や事業所支援対策、感染症予防対策に重点を置き事業を実施している。

問 農業者支援給付金の状況について。

答 3月11日現在、認定農業者である法人が5件75万円、個人認定農業者が50

名500万円、一般販売農家が246名1230万円、合計で301件1805万円となっている。

問 地方創生臨時交付金(第三次補正)の取組について。

答 1億59万5千円の配分の内、22万4千円は、国から令和2年度内に使用する指示があり、既存の事業に充当する。残り9837万1千円については、7426万6千円は新年

度予算として計上し、残り2410万5千円については、今後の状況を踏まえ、補正予算等により計上していきたい。

問 今後の新型コロナウイルススワクチン接種体制のスケジュールについて。

答 4月26日の週に下郷町にワクチン1箱が到着予定。国からの支給方針もあり、現在、4月中旬に接種券の配布、5月よりワクチン接種開始を考えている。

質問 町長の任期について

答弁 今後とも町政のかじ取り役としてよろしくお願いしたい

問 星町長は、1期から通算7年6か月となりますが、成果が確実に現れてきている。公約も道半ばと思うが、町長の心中をお聞かせ願いたい。

答 私は様々な山積する課題について、今後も対策を的確に着実に継続して、町づくりを進めていくことが私の使命であると考えている。今後とも町政のかじ取り役としてご支援、ご鞭撻をよろしくお願いを申し上げる。

質問 水田農業対策について

答弁 各種支援策により 地域農業の振興を図りたい

問 本町は、今後の水田農業の振興についてどのような施策を図るのか。

答 水田収益力強化ビジョンに基づき、国の交付金を活用した高収益作物や非主食用米の取組を一層推進す

る。また、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金により、水田等の維持管理活動を支援していくとともに、各種支援策により地域農業の振興を図りたい。下郷町農業法人設立基本構想の内

容が固まる見込みであり、令和3年度はこの基本構想などに基づき、具体的な事業計画の検討を進める。



佐藤 盛雄 議員
morio satou

質問

そば農家及びそば店への
支援策について

答弁

他の農業者との公平性に配慮し
前向きに検討したい

問

高齢化により農業従事者は減少の一途を辿り、担い手も少なく、荒廃農地が各地で散見される中、そば農家は、耕作放棄地解消に大きく貢献している。南会津町では、そば農家支援として10a当たり5千円補助している。下郷町でも実施すべきである。コロナの影響で、令和2年産玄そばの市場価格が著しく下落し、そば農家は3年産作付けに不安を持っている。また、そばを提供する店も著しい売上減少に陥っている。耕作放棄

答

そば店への支援は、コロナウィルス感染症拡大防止協力金や観光関連事業者経営持続支援金で対応しており、そば店に特化したものではなく飲食店への支援として実施して

質問

未来創生ふるさとまちづくり
支援事業について

答弁

住民自ら地域の未来を考え
実現に向け実施する支援事業

問

本年度予算に新規事業として500万円が計上された。一地区50万円を限度に10地区を想定した事業とのことだが、どのような内容か。第6次総合計画の中で重要な位置づけになっておらず、急な思い付きの発想としか見えない。各地区人口減少で地区の伝統行事の復活など難しいと思われ、将来にわたる費用対効果や継続した事業展開ができるのか、尻切れトンボにならないか心配。以前「元氣の出るまちづくり」が実施されたが、

答

コロナ禍に於いて疲弊するため、住民自らの地域の未来を考えその実現に向けて実施する地域の特徴を生かした住民主体のまちづくりを支援する事業。伝統行事の復活や新たに実施するイベント、既存事業の拡充継続に要する経費を支援する。この事業はふるさと市町村基金からの返還金を財源に、主にソフト事業を対象にしている。第6次総合計画の策定は、町のあらゆるものを網羅して総体的に進めている総合計画で、個々の事業内容については、具体的に述べていないが、基本理念の本旨に当たる政策として実施したい。

質問

土地改良区の今後の
在り方について

答弁

県の指導を頂き
健全経営に努める

問

土地改良区では、深刻な存続の危機に陥っていると聞か、実態はどうなっているのか。存続のためにどのような支援策を考えているのか。町長の所見を伺う。

答

土地改良区運営は理事長を中心に、町臨時職員が農林課業務と兼務する形で担当している。基盤整備の大きな役割を担っているので、土地改良区の健全な運営が出来るよう、県などの指導の下での様な支援策が必要なのか検討をしていく。

施したい。少子高齢化で地域が疲弊しており、地域住民のアイディアをつなぎ、地域を育み、人材育成を図りながら、地域活性化を目指す。



湯田 純朗 議員
sumio yuda

質問

湯野上地域整備計画の今後について

答 弁 観光の重要な拠点である大島エリアの駅前広場の整備計画を予定

問 令和3年度予算に、湯野上地域整備基本計画大島エリア内の擁壁工事が計上されている。他の居平エリア、寄神エリアについて、今後どのような事業を展開するのか。また、今まで湯野上地域整備計画にいくら支出されたのか具体的に示せ。

答 大島エリアについて観光交流の拠点として重要と考えている。他のエリアについても、当初の計画もあるが、空家の活用など様々な方策

問 会津縦貫南道路の開通まで5、6年という現在、一番重要なことは、湯野上

も考えられる。今後財源の確保、ランニングコスト等、将来を見据えた地域のあり方、町の財政状況を勘案し事業実施に向けて検討していく。今まで湯野上地域整備計画に費やした金額は全体で5135万5120円、うち国県等の補助金が3858万6280円、一般財源が1276万8840円である。

集落を車が通らなくなるストローク現象の影響と考えるが、町長の考えを伺う。

答 会津縦貫南道路が開通すれば国道121号通る車

が多くなり、様々な相乗効果が得られると考える。日光からの1200万人の観光交流人口が会津の方に流れてくればと期待をしている。本町が通過点にならないようこれからも、会津鉄道をはじめ関係団体と連携し、今後も観光宣伝に力を入れてまいりたい。

質問 下郷観光循環バスについて

答 自由乗車型から予約制型に検討

問 下郷町観光循環バスは、地域創生総合支援事業として町長肝煎りで事業が開始された。令和2年度予算では1804千円が計上されたが、令和3年度は計上されていない。この事業は終焉なの

質問

しもごう保育所の職員及び調理担当職員の勤務体系について

答 弁 国で定められた保育士の配置基準及び児童福祉施設の運営基準を満たす

問 しもごう保育所の職員及び調理担当職員の勤務体制はどのようになっているのか。保育士の早出シフト体制に調理担当職員が含まれているという事は無いのか。

答 国で定められた保育士の配置基準を満たしている

か。今まで費やした金額はいくらか。この事業の評価と検証はされたのか。観光客よりバスの通らない中山、大沢、白岩、雑根集落の高齢者への交通対策はどのようにするのか。

答 観光地全体の底上げを図る目的で、県のサポート事業により、平成28年度から令和2年度まで実施した。令和3年度は、サポート事業が終了したので、今後は自己資金

る。また、調理担当職員においても、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準、配置基準に基づき、事前の準備等を必要とするため早出のシフトを組んで、適正な管理運営に努めている。

で出来ないか検討したが、今年度は予算計上を見送った。今後は、ターゲットを県内、近県観光客に、自由乗車型から予約制型に検討を考えている。今まで費やした金額について、5年間で1610万5662円、うち県サポート事業から1018万8千円の補助金を受けている。また交通弱者への対応もしていかなければならない。



山名田 久美子 議員
kumiko yamanada

質問
栗林遺跡の今後は

答弁
県が報告書の発行を予定

問 中妻の栗林遺跡は、会津縦貫南道路「湯野上バイパス」の整備区域であり、平成27年度に県埋蔵文化財包蔵地として記録保存のため調査した。2度目は平成30年で、その年の9月末日時点で縄文時代中期から後期にかけて造られたとみられる竪穴住居跡27軒見つかった。住居跡には「複式炉」と呼ばれる囲炉裏も発見され、当時の人々が調理をしていた可能性がうかがえる。

県教育委員会では、栗林遺跡の位置づけや全容把握に向け次年度以降の調査も検討するとしていた。栗林遺跡の今後の取り扱いはどうなるのか伺う。

答

令和3年度で調査は終了し、その後は埋め戻されることになる。教育委員会は、現地説明会開催を再度希望している。記録保存される内容をベースに歴史遺産として後世に伝えていきたい。



遺跡発掘の様子

問

埋め戻されるのは残念である。報告書は、田沼文蔵記念館や学校に置いてほしい。現地説明会は、百聞は一見に如かずと考える。実施されるなら映像として残し、歴史教育や社会教育の観点から映像を見る機会を設けてほしい。

答

現地説明会は、県・国土交通省に話をしていく。実現すれば、映像も含めて保存できる環境づくりをしていきたいと考える。

質問

新型コロナウイルスに係る経費に関して

答弁
万が一の場合対応する

問

新型コロナウイルスに感染し亡くなられた方の葬儀にかかる費用について、特殊な納体袋や防護服、車内の消毒、対応した従業員の一定期間の隔離や自粛に伴う費用などがあり、請求される費用は高額になる。葬儀会社から届いた請求書は、郡山市内からの搬送で約80万円、会津若松市内で約70万円だった。

町として弔慰金などの支給は考えられているのか伺う。

答

感染者及び追跡調査は管内保健所が所管、町へは年代、性別の情報のみである。自然災害等による被災した家族への弔慰金支給はあるが、今後県からの支援制度の動向を見極めながら考える。

問

個人情報の観点から個人を特定することはしていないというが、死亡届には医師の診断書欄があり届け出受理の際、町は特定できるのでないか。守秘義務が守られれば他人が知ることはない。

特別養護老人ホームに入所する場合、施設所在地に住所を移動すると聞いている。元下郷町在住で、田島ホームに入所されていた方は受け取っている。あつてはならないが、万が一の時は対応する考えはあるのか。

答

下郷にも特別養護老人ホーム・レジデンス藤の郷等があり、あつてはならないが、万が一の場合は対応することはやぶさかではない。

基本条例の条文作成也大詰め!

【委員会の経過と今後】

- 2月26日 第7回特別委員会
 - ・基本条例条文の原案協議①
- 3月26日 第8回特別委員会
 - ・基本条例条文の原案協議②
 - ・只見町議会への研修視察
- 4月26日 第9回特別委員会
 - ・議会中間報告会（6月定例会）の原案作成
- 5月下旬 第10回特別委員会
 - ・議会中間報告会の原案完成

コロナ禍の影響もあり、委員会活動に若干遅れが出ています。

通年議会について

最も大きな改革事項となります“通年議会”について、もう少し町民に分かりやすく説明いたしましょう

○今までは年4回（3・6・9・12月）の議会でした。通年議会になると、議会活動を必要とする時はいつでも開くことができます。

○それによって、急を要する場合に臨時議会を開くとか、首長専決事項として処理してしまうことが少なくなり、即議会を開いて町民の声をしっかり届けていくことが可能となります。

○通年議会では議会が行われていない期間は「休会中」という扱いになります。災害が発生したときは、議会を「再開」して速やかな災害への対応が可能となります。

○議会を自ら開催（主導的）し、スピード感（機動的）を持って運営にあたることは、議会にとっての大事な監視役を果たすことにもつながります。

町民に納得のいく説明を求める 条文を盛り込みます。

「重要制作の審議」

町長は、制作を決定するために、予め背景・経過・根拠・財源等のについて明らかにして、議会の意見を聴くよう努める

「予算・決算における説明資料の提出」

町長は、議会の審議に付するにあたって分かり易い施策・事業等の説明資料の作成・提出に努める。

先進的な只見町議会改革に学ぶ! ＜通年議会導入…県内でNO1＞

議長、副議長並びに議会運営委員会（4名）の方々から、貴重なお話をいただきました。

- ◇従来の議会運営は、前例踏襲主義あった。それを排除すると共に成文化してきた。
- ◇議長の任期を申し合わせで2年にするといった法に反する事項は削除してきた。
- ◇議会運営の重要性から、まずは「通年議会」の改革に着手。その後じっくり「議会基本条例」の制定にあたった。
- ◇議会改革は、特別委員会を設けず、議長を含め全員構成で行ってきた。

只見町議会様には、年度末の多忙な時期に、快く研修の機会を設けて頂きありがとうございました。



議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

他よりどことなく
集落のシンボル！



集落入口に静かにたたずむ地蔵様



家庭の玄関先で福を待つフクロウ

コロナ禍で不安な日々を送っている人々を
やさしく見守りながら、
「必ず福はやって来ます。
もう少し頑張りましょう。」と
皆を励ましているかのようにです。(中妻地内)

新型コロナウイルス感
染症拡大防止のため中止
となった「中山雪月火」。
実行委員会の皆様は、
中山の「火」を絶やさず、
来年に向けPR動画を作成
した。
議会として実行委員会
にエールを送りたい。



議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

委員長	山名田	久美子
副委員長	玉川	邦夫
委員	星	能哲
委員	星	和志

編集後記

議会広報は基本16ページ。
定例会から2カ月以内を目
標に発行している。
95号は、臨時会・定例会・
当初予算に加え一般質問9名
で、20ページとなった。ペー
ジに限りがあり、すべてを掲
載することはできないので一
苦勞。
今、議会改革特別委員会
で、HPの充実、ライブ中継、
議会報告会、意見交換会の開
催など検討している。「んーこ
れどつなつてる。」と思うこと
あれば、いつでも声をかけて
いただきたい。
(山名田 久美子)